

あかやま



第 **312** 号
学校だより373号

校長あいさつ (校長 常松 徹)



始業式を終えて一週間余りで臨時休業を迎えた昨年度に比べ、令和3年度のスタートがとても落ち着いているように感じるのは私だけではないと思います。しかし、4月中旬以降、新型コロナウイルス感染症拡大の第4波が島根県にも及びつつあり、決して気の抜けない状況となっています。今までと同様に、十分に感染症対策を講じながら教育活動を継続させていきたいと思っています。

さて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。松江市内普通科3校の通学区撤廃という新しい入試において「松江北が難化するのでは?」と言われている中、皆さんは自らの志望を貫き本校を受験し、入学されました。そのことを嬉しく思うと同時に、そんな皆さんを誇らしく思います。残念ながら普通科においては、定員を満たすことはできませんでしたが、見方を変えて、1クラスあたりの人数が32~33人となり、例年よりもさらに目に行き届いた中で教育活動が行える、とポジティブに考えましょう。

先日に入學式では、「凡事徹底」と「文武両道」について話しました。このうち、「文武両道」について少し補足をしたいと思います。皆さんは、「文武両道を達成した」と言えるのはどんな状況だと考えますか? 「県大会で上位入賞」「全国大会に出場」「志望校に現役で合格」などを思いつくとします。しかしそれだけでしょうか? 私が本校で新規採用教員の時の校長で、三浦富登第12代校長は次のように言われました。「文武両道は、その立派な成果を持って論ずるのではなく、文と部の両方にかかる努力を評価することから出発して論ずべきものと思っている。部活動で言えば毎日練習を欠かさないことであり、学習で言えばいくら部活動で疲れていても、毎日一定の学習時間を確保し、不合格科目を一科目も持たないように努力することから文武両道は始まる。最低限この二つの条件を満たすよう努力をしたときに文武両道と言って良い。本人がより努力して、この最低限の条件以上の成果を挙げた場合は、より立派に文武

両道を果たしたと評価すべきであろう。(中略)要は文と部にひたむきに努力し、知的にも人間的にも一歩でも半歩でも成長した時に両道を成し遂げた人物として高く評価することである」と。皆さんどうでしょう。決して簡単ではないかもしれませんが、この二つの条件を満たすことから始めてみませんか? 皆さんならきっとできると信じています。

少し長くなりますが、もう一つ。北高生が守るべきルールの一つについて話します。それは、「北高の坂道を自転車で乗って降りてはいけない」というルールです。このルールが作られた理由を考えたことがありますか? 事故を防止する、というのは当然ですが、それだけではありません。わずか100m足らずの坂道ですが、その坂道を、人が見ていようが見ていなかろうが、乗って降りたい欲望を抑え、ルールを守って、自転車を引いて降りることを毎日繰り返すことによって、今の子ども達にかけていると言われる自律の心=してはいけないことは、どんな理由があるにせよ絶対にしない、という辛抱することのできる強い心が培われてくると考えるからです。むしろこちらの方が大切だと考えます。

最後に、今年の始業式に2・3年生に話した言葉で締めくくりたいと思います。

我慢と辛抱

嫌なことをただ耐え忍ぶのが「我慢」

好きなことのために耐え忍ぶのが「辛抱」

我慢の中には不満がある

辛抱の中には希望がある

我慢はいずれ爆発する

辛抱はいずれ実る

我慢はしなくていい

辛抱しよう

新入生のみなさんへ (1年 学年主任 玉木 愛)

コロナ禍で迎えた高校生活。まずはみなさんが、日々健康で過ごせるようにと祈っています。

入学から一か月。松江北高校での生活はいかがですか。やはり勉強は大変ですか。部活動は楽しいですか。きっとそれぞれが充実した毎日を過ごしていることと思います。これからも、一日一日を大切に、自分の一歩一歩を確かめながら、進んでいってください。みなさんに、次の詩を贈ります。

「出発の意味」 宮澤章二

だれかが 実力を試してくれるかも知れぬ
そして 点数をつけてくれるかも知れぬ
それでいい そこから未来へ出発するのだ
そこから 新しい風景が見え始めるのだ

自分の足で 一人の実力で山道を登る
一歩一歩、どんな天景がひらけるのか
苦しんで登ってみなければ わからない

〈進もう〉と決意するからこそ 道がある
自分の道は 自らの努力でしか歩けない
それを 身をもって確かめるための 出発

花たちは 開く行為によって光に出会える
鳥たちは 飛ぶ行為によって風と遊べる
人もまた 意欲的に出発する行為によって
それぞれが 本当の〈希望〉に出会える

私は、みなさんが入学したときから、少し気が早いようですが、三年後のみなさんのことを思っています。みなさんはこの三年間で、自分を見つめ、自分を磨き、自分の生き方を定めていかなければなりません。どうか、その一歩を大きく前に踏み出して、たくさんの人と出会い、たくさんのことを学び、力強く生きていけるかしこい人になってください。また、時には立ち止まり、自分や周りの人たちの声にじっくり耳を傾け、思いやりあるやさしい人になってください。三年後のみなさんを思いながら、そう願っています。次の司馬遼太郎の言葉は、そんな私の願いと重なっています。

『21世紀を生きる君たちへ』より 司馬遼太郎

君たちはいつの時代もそうであったように、
自己を確立せねばならない。
—自分に厳しく、相手にはやさしく。という自己を。
そして、すなおでかしこい自己を。

ようこそ
Welcome!

松江北高へ 着任教員あいさつ

4月に着任された先生方を紹介します

①趣味 ②北高での意気込み を伺いました

よろしくお話しします!

教頭 伊藤 尚子先生

- 歩いたり、走ったり、時々登ったり。
旅行も好きなので↑と兼ねて、富士山登ったり、屋久島の縄文杉見に行ったり、100KmWalkで伊勢神宮に初詣したりといろいろ挑戦してきました。今こんな世の中ですが、落ち着いたら次はどこに行こうかなと思い巡らながら近所の散歩にいそんでいます。
- 2度目の勤務になります。20数年ぶりに帰ってきました。みんなの“一生懸命”にどんなに出会えるのかとても楽しみにしています。いろんなことを一緒に楽しんでチャレンジしていきたいです。よろしくお話しします。

事務長 小松原 喜幸さん

- ・ガーデニング
通勤時間が長かったのと定期のマンション大規模修繕で世話を怠っていました。そのため、この冬で鉢花が枯れてしまいました。心機一転、満開の花を咲かせます。
・読書
最近、WEB小説の転生物にはまり気味です。気楽に読めるので頭の切り替えにもってこいです。
- 出雲工業高校から異動してきました。生徒の皆さんの人数が倍くらいになり、圧倒されています。前任の高校では、生徒の皆さんは明るく元気に挨拶してくれました。徒歩で通勤していますので、登下校時に生徒の皆さんと一緒にいることも多いと思います。それに倣って、私の方から率先して、出会った生徒の皆さんに挨拶しようと思います。

国語 永島 静夫先生

- 読書、カメラ
- 22年ぶりの赤山勤務となり、戸惑うことばかりです。保護者の皆さん方の中にも、同じ時期にこの赤山で過ごした方もいらっしゃると思います。私は馬齢を重ね、勢いは衰えていると思いますが、またバージョンアップした面もありますので、生徒諸君によりよい教育内容が伝えられるよう、頑張りたいと思っています。

地歴・公民 (日本史) 岩町 暁先生

こんにちは。三刀屋高校から参りました岩町と申します。地歴公民、専門は日本史です。持っている力は小さいですが、少しでも皆さんの力になれるよう、精一杯努力いたします。なにとぞよろしくお話しいたします。

数学 古藤 あゆみ先生

- 体づくりのための筋トレ、料理
- みなさんと共に学んだり、お話できるのをとても楽しみにしております。夢や目標に向かって努力するみなさんを全力でサポートしますので、どうぞよろしくお話しします。

理科 (生物) 坂根 大樹先生

- キャンプ、映画鑑賞
- 浜田高校から赴任して参りました。勉強や部活等、全てのことに意識の高い、北高生の皆さんとともに学校生活を送れることをとても楽しみにしています。自分自身まだまだ未熟なところがあり、迷惑をおかけすると思いますが一緒に成長していけたらいいなと思っています。これからよろしくお話しします。

理科 (物理) 福間 和輝先生

- クワガタ探し、釣り
- 教員になって日も浅く、まだ右も左もわからないような状態ですが、少しずつ成長していくので生徒の皆さん、先生方、暖かく見守っててください。また、しゃべることが好きなので、沢山の生徒といっぱい、いろんな話をしたいなと思っています。これからよろしくお話しします!

理科 (化学) 渡邊 渉先生

- 海、三線 (サンシン)
- 「出会いは成長の種」といいます。化学の授業を通して、もっと広い世界やずっと遠い未来についても、みなさんと語り合えればいいなと思っています。よろしくお話しします。

英語 林 順先生

- 水泳 (週2・3回は泳ぎたい)
- 12年ぶりの松江になります。松江は生まれ故郷なのですが、12年の間に松江も変わっていることに驚かされています。例えば町並み (店、道路など) は以前と違うと感じています。私自身も変わっていると思いますが、いい意味で成長し、北高生のサポートができるようになればと思っています。

英語 古川 志穂先生

- 旅行、ドライブ、高校野球観戦、釣り (←これから始める予定です)
- 久しぶりに松江で勤務することになりました。初任の頃に戻った感じで緊張していますが、笑顔だけは絶やさず全力で頑張ります! まずは「松江の人たれ」をモットーとし、自分なりのmoveを目指したいと思っています。よろしくお話しします。

情報 菅原 卓朗先生

- ポ★ケ★モ★ン
- 2回目の北高勤務です。実は高校生時代も北高に通っていたので、とても縁のある高校と感じています。趣味に関する愛が強すぎて日常的にあふれ出している状態ですが、おそらく変な人ではないです。生徒のみなさんと共に成長し、すてきな学校生活にしていきたいと思っています。よろしくお話しします。

学校司書 前嶋 歩美さん

- 洋画鑑賞、音楽鑑賞
- 皆さんが、一冊でも多く自分にぴったりの本と出会うためのお手伝いができるように、一生懸命頑張ります。気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお話し致します。

事務 道下 陽菜さん

- お菓子作り、カフェ巡り
- 2年前までは高校生だった私が4月からは職員として高校に通うということがとても不思議な気持ちです。私は、高校でできる友達は一生ものだと思います。高校の3年間は長いようであっという間なのでぜひみなさんはたくさん友達を作り、写真を撮ったりしてたくさん思い出を作ってください。私も皆さんの学校生活をよりよいものにできるように一生懸命頑張ります。よろしくお話しします。